

Studyaid_{DB} information vol.51

今回のトピックス

1. 新機能！統計機能のご紹介
2. ショートカットキーを使いこなす！



1. 新機能！統計機能のご紹介

2014年春発行商品に待望の統計機能を搭載しました(※)。ここでは、統計機能の概要についてご案内します。詳しい操作方法はヘルプ(?)をご覧ください。

※Ver.17.5以降のシステムに搭載しています。2012年春以降発売のVer.17商品を1つでもお持ちであれば、アップデート版システムを適用することができます。

最新のアップデート版システムは、弊社ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

<http://www.chart.co.jp/stdb/sugaku/download/1348.php>

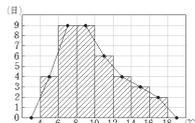


統計機能でできること

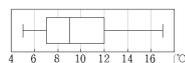
- ★ データを入力するだけで簡単に表・グラフを作成できます。

階級(°C)	度数(日)
4以上 6未満	4
6 ~ 8	9
8 ~ 10	9
10 ~ 12	6
12 ~ 14	4
14 ~ 16	3
16 ~ 18	2
計	37

度数分布表



ヒストグラム・度数折れ線

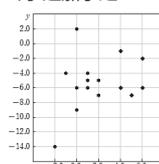


箱ひげ図

2014年5月 追加予定

番号	身長	体重
1	179	91
2	183	84
3	177	74
4	173	75
5	178	83
6	184	78
7	189	95
8	176	74
9	183	85
10	181	75

データ表



散布図

- ★ 一度作成した表やグラフから他の表・グラフを作成することができます。
- ★ 入力したデータから平均値などの代表値や分散、標準偏差などを自動で算出し、利用することができます。



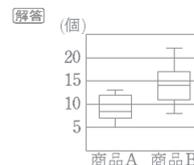
統計機能を使ってみよう

では、実際に統計機能を使って、右の箱ひげ図を作ってみましょう。

黄チャート数学I+A(解法と演習)
Check 49の問題です。



次のデータは、ある店における商品A, Bの10日間の販売数である。
商品A 12, 9, 5, 7, 13, 12, 10, 6, 7, 8
商品B 10, 15, 17, 20, 8, 12, 13, 22, 16, 11
これらのデータの箱ひげ図を並べてかけ。



Step 1. 統計機能を開始しよう



内容編集集中に表示される[文章]タブ内の「統計」ボタンをクリックして、統計グラフの描画を開始します。



「箱ひげ図」を選びます。

Step 2. データ入力&表示設定をしよう

① 箱ひげ図の名前を入力

② 「変数」を選択

③ 「入力」ボタンクリック

④ 「列を末尾に追加」ボタンクリックで、列を追加
「列名を変更」ボタンクリックで列名をそれぞれ「商品A」「商品B」に変更

⑤ 「商品A」「商品B」のデータを各列に入力

⑥ 「OK」ボタンクリック

⑦ 「設定」ボタンクリック

⑧ 「縦向き」を選択

⑨ [軸・目盛・列名] タブにて
・単位欄に「個」と入力
・目盛の間隔を 5 ずつに設定
・「列名を表示する」に ✓ を入れる

⑩ 「OK」ボタンをクリックしてできあがり!

⑩ 「OK」ボタンをクリック

中 Guide

[表示の設定] 画面ではパーツごとに色を設定することができますが、全体的色を変える時は、「色変換」機能がオススメです!

例えば、黒 ⇄ ピンク の色変換を行うことで、図形を間用 ⇄ 答用に簡単に切り替えることができます。

色変換したい図形を選択した状態で、右クリックメニュー または リボンの [編集] タブで「色変換」をクリック。



黒を指定 ピンクを指定



変換元の色と、変換後の色を指定します。



2. ショートカットキーを使いこなす！



最新のアップデート版システム(※)で、新たに図形記号のショートカットキーを多数追加しました。そこで今回は【図形記号編】として、図形分野で用いられる記号のショートカットキーに関する問題をご用意しました。 ※ Ver.17.5 以降で対応しています。

お題 以下の2つの間に答えなさい。

問 1

各機能とショートカットキーが正しい組み合わせとなるように、それぞれの点と点を結びましょう。

- | | | | |
|-----------|---|---|------------------|
| ① // (平行) | • | • | ⌘ Ctrl + Alt + S |
| ② ∞ (相似) | • | • | ⌘ Alt + T |
| ③ ∠ (角) | • | • | ⌘ Alt + / |
| ④ △ (三角形) | • | • | ⌘ Alt + K |

問 2

下記は、方べきの定理の証明である。ア、イに入る適切な記号をショートカットキーを用いて入力しましょう。

方べきの定理 I

定理 12 円の2つの弦 AB, CD の交点、またはそれらの延長の交点を P とすると $PA \cdot PB = PC \cdot PD$ が成り立つ。

証明 $\triangle PAC$ と $\triangle PDB$ において

$\angle APC = \angle DPB$

ア

2組の角がそれぞれ等しい

から

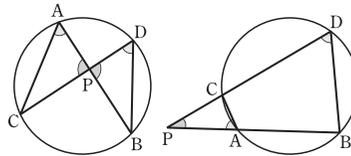
イ

ゆえに

$$PA : PD = PC : PB$$

したがって

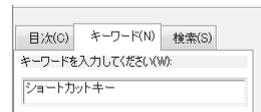
$$PA \cdot PB = PC \cdot PD$$



終

[数学A] P.86 より抜粋

他にも「≡」や「⊥」, 「∞」など多数ショートカットキーを追加しました。ショートカットキーはヘルプ  でも確認できます。
【キーワード】もしくは【検索】で"ショートカットキー"と入力。



ヘルプ画面